



サステナビリティ日本フォーラム

平成 27 年度 定例理事・評議員会、総会

■ **開催日時** : 平成 28 年 2 月 25 日 (木) 18 時 00 分

■ **開催場所** : 東京都千代田区紀尾井町 4-1
新紀尾井町ビル 5 階
特定非営利活動法人アイ・エス・エル

特定非営利活動法人 サステナビリティ日本フォーラム 平成 28 年 理事・評議員会、総会

■日時：平成 28 年 2 月 25 日(木) 18 時 00 分 ～19 時 30 分

■場所：NPO 法人アイ・エス・エル 千代田区紀尾井町 4-1 新紀尾井町ビル 5 階

■在籍：2 月 25 日 現在

理事総数 15 名 / 監事総数 1 名 / 評議員総数 24 名 (定足数:理事会 8 名・評議員会 12 名)

正会員数 82 団体 (企業 25 中間組織 8 CSO(NGO) 6 個人 43) (定足数: 27 名)

*定款第 40 条(49 条)より「理事会(評議員会)は、理事総数(評議員総数)の 2 分の 1 以上の出席をもって成立する」

*定款第 31 条より「総会は、正会員総数の 3 分の 1 以上の出席をもって成立する」

議事次第

1. 開会

2. 定足数の確認

3. 議長選出と議事録署名人選出

4. 審議事項

第 1 号議案 総会決議事項(定款第 27 条) 平成 27 年度事業報告および決算

第 2 号議案 理事会決議事項(定款第 36 条) 平成 28 年度事業計画(案)および予算

第 3 号議案 評議員会決議事項(定款第 45 条) 理事の選任

第 4 号議案 理事会決議事項(定款第 36 条) 評議員の選任

第 5 号議案 理事会決議事項(定款第 66 条) 運営委員の選任

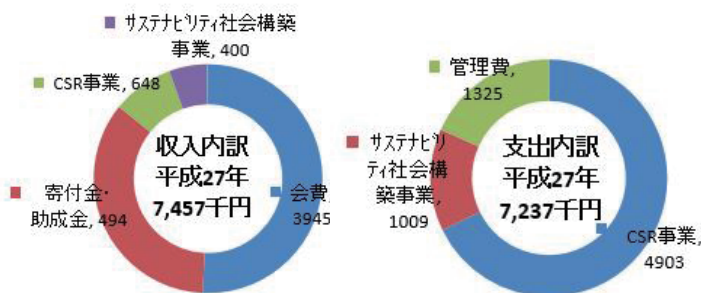
5. 閉会

- ・ 資料 1 平成 27 年度事業報告および決算 ……1～7 ページ
- ・ 資料 2 平成 28 年度事業計画(案)および予算 ……8～11 ページ
- ・ 資料 3 役員一覧 ……………12～13 ページ
- ・ 資料 4 運営委員一覧 ……………14 ページ
- ・ 監査報告書 ……………15 ページ

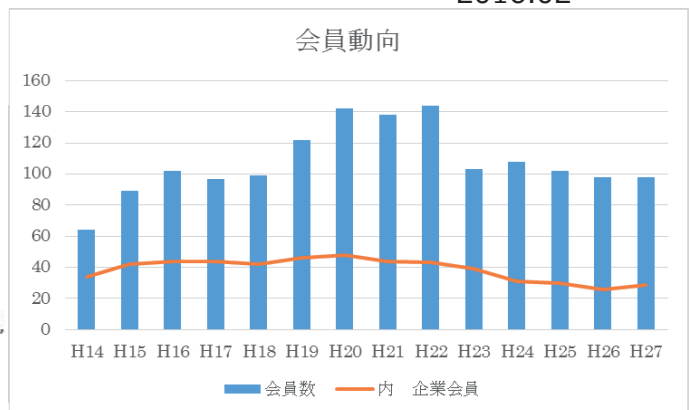
サステナビリティ日本フォーラム 平成 27 年度事業報告

(平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)

会員動向・財務報告



2016.02



会員数は 98 (平成 27 年 12 月 31 日現在)。16 名の役員、24 名の評議員および 9 名の運営委員と専従職員は 1 名。平成 27 年度の入退会状況は、企業会員は 3 社入、2 社退 (1 社増)。個人会員は 5 名入、7 名退 (2 名減)。

事業概要

○:会員拡大を目指して一般にも開催 △:会員向けに開催 ※:新規取組み

対象者	サステナビリティに資する情報開示を促進し持続可能な社会を構築するためのプログラム		
	調査・研究	講座・座談会	レポート・発行物
CSR 部門担当者/ サステナビリティ・CSR 志向の企業人/ CSR の裾野を広げる取組みに関心を持つ人	△未来データ&シナリオ研究会 △マテリアリティ特定研究会※ △長期目標を掲げる企業事例調査※ →環境省主催低炭素杯への協力 △レジリエント企業価値評価格付けWG	○シリーズ勉強会 ○CSR 基礎講座 ○役員向け CSR 講座 △ラウンドテーブル △EU 会計指令解説検討会※ △役員懇談会	○ラギー・フレームワーク △シリーズ勉強会レポート △ウェブサイト・会員専用ページ運営 ○メールマガジン
サステナブルな社会構築・地域創生に関心を持つ人	○海士町 再生可能エネルギー自給率向上の取組み		

事業報告

1、企業の CSR 活動を啓発・促進する事業

■・・・平成 27 年度新規取組み

満足度・・・アンケート回答で勉強会の内容について適切・概ね適切 80%以上を◎、60～80%を○、60%未満を△とする
セミナー

開催日	タイトル	講師 (敬称略)	参加者数 (非会員)	満足度	アンケート回答率
1/19	ジレンマゲームを通じて CSR の実践について理解を深める	KPMG あずさサステナビリティ 加藤祥子	22 (11)	◎	100%
1/23	成長戦略に欠かせないダイバーシティの重要性	Sus-FJ 後藤敏彦 アパショナータ パク・スックチャ	10 (2)	◎	70%

シリーズ勉強会 テーマ「エンゲージメントでサステナビリティの裾野を広げる」全5回

開催	タイトル	講師（敬称略）	参加者数 （非会員）	満足度	アンケート 回答率
5/27	「コーポレートガバナンス・コード～経営層の受託責任・説明責任が問われる時代～」	金融庁 藤本周、 日本 GE タニグチ直子	34 (12)	◎	55%
6/3	「お取引先からのエンゲージメント要望にいかに対応していくのか？」	CDP 森澤みちよ、 インテル野依靖司	21 (8)	◎	76%
7/17	ファンドマネージャーとしてのステュワードシップ責任～ESG投資を実行する運用会社の話を聞く～」	スパークス・アセット・マネジ メント 清水裕様、味の素 中尾洋三	29 (4)	◎	79%
9/18	原材料調達にCSRの優先課題～事業の細部に潜む生物多様性のリスク～」	レスポンスアビリティ 足立直 樹、花王 松瀬高志	16 (8)	◎	69%
11/13	「持続可能な開発のための2030アジェンダ（SDGs）採 択～企業が関わること～」	LIXIL 山上遊、国際協力 NGO セ ンター（JANIC） 富野岳士	19 (4)	◎	53%

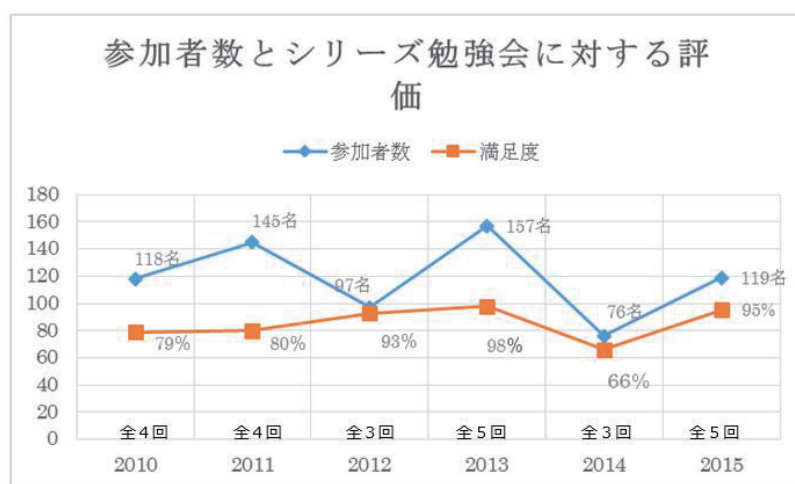


図1 参加者数と満足度（アンケート結果より、勉強会の内容について適切・概ね適切と答えた割合）の推移

CSR 基礎講座

開催	タイトル	講師	参加者数 （非会員）	満足度	アンケート 回答率
3/25,4/22,5/13, 9/29,11/10	CSR 担当者のための CSR 基礎講座 全5回	Sus-FJ 鎗野達男	25 (12)	◎	72%
10/20,11/11,12/17	役員・部長（室長）のための CSR 基礎講座 全1回	Sus-FJ 後藤敏彦	3 (1)	-	N/A

研究会 ■・・・平成27年度新規取組み

開催	タイトル		参加数 （非会員）
1/31、2/1、 2/27	未来データ&シナリオ研究会 第10回、合宿	2050年の社会及び社会的ニーズについて未来シナ リオと相関図を策定	13 (0)
10/9,10/19	マテリアリティ特定研究会 全2回	企業1社とマテリアル(重要な)課題の特定を試行	10 (1)
8月～12月	長期目標を掲げる企業事例調査	長期目標を掲載するCSRレポートの中から優良事 例を調査する	7 (2)

調査ならびに表彰制度への関わり等

（一社）地球温暖化防止全国ネットの委託により、同ネットが事務局を務める表彰制度「低炭素杯2016」の調査及び審査に協力。平成27年10月1日時点の日経225及び過去10年間の環境コミュニケーション大賞受賞企業、計256社の中から2030年～2050年のCO2排出量削減目標を持つ企業を調査。該当企業27社から10社を低炭素杯2016「ベスト長期目標賞」として平成28年2月17日で表彰する。

ラウンドテーブル（以下、RT）

開催日	タイトル	参加者数（非会員）
7/28	国際人権 NGO ヒューマンライツ・ナウ事務局長、弁護士伊藤和子さんとの RT	6 (0)
8/18	CSR アジア日本代表 赤羽真理子さんとの RT	10 (0)

ワーキンググループ（以下、WG）、シンポジウム ■…平成 27 年度新規取組み

開催	タイトル	委員、講師（敬称略）
1/8,1/29,3/3	レジリエント企業価値評価格付け WG ラウンドテーブル	Sus-FJ 後藤敏彦、大和総研 河口真理子、日本政策投資銀行 竹ヶ原啓介、高崎経済大学 水口剛、CDP 森澤みちよ、企業 6 社
4/20,5/15,10/14	EU 会計指令解説 WG	Sus-FJ 後藤敏彦、PwC 寺田良二、田原英俊、寺中誠、木村修平
11/18 参加者 82 名 (50)	「EU 会計指令改訂と非財務情報開示～中長期的な成長戦略・ESG にどう対応するか～」	日本経済大学 松尾敏行、上智大学 上妻直義、PwC 三橋優隆、富士通 藤崎壮吾、MSCI 大海雄三、大和総研 河口真理子 モデレーター：Sus-FJ 後藤敏彦

2、サステナビリティ社会構築に向けた調査・研究・支援事業

地域創生の星、海士町で再生可能エネルギー自給率向上を目指した取組み

あま未来アイランドプロジェクトとして、国内外で注目されている「海士町」をひとつのモデルとして、環境経営学会の再生可能エネルギー研究委員会と意識啓発、調査研究、実証実験を継続。2月～8月にかけて全国 4 箇所の視察。環境経営学会研究報告大会（5/23）での報告。2月～12月にかけてスカイプ会議を全 9 回開催。

3、サステナビリティレポートの国際標準をめざす GRI ガイドラインの普及・啓発事業

G4 マルチステークホルダー委員会と協働し、継続して GRI ガイドライン第 4 版を普及。また、GRI が進める新たな取組み（ガイドラインからスタンダードへ移行する計画）について情報収集を行った。

4、サステナビリティレポートに関する研究を推進し、国内外へ提言・提案を行なう事業

1 で実施したレジリエント企業価値評価格付け WG の成果を提言書にまとめ会員向けに発表。また、ラギー・フレームワークを継続頒布し（残部 100 部）、非財務に関わる情報開示を半歩前進させるための活動を行った。

広報活動

ウェブサイト（フェイスブックページ新設）・会員専用ページの刷新、メールマガジンの配信
配信数は全 17 号配信。購読者数は 1,311 名（+29 名）。会員メールマガジンの配信数は全 6 回。

その他

役員懇談会（2 回実施）

開催日	ゲストスピーチ（敬称略）	参加者数
1/7	エシカル市場拡大のためのラウンドテーブル「(オーガニックコットン) 5%じゃ、ダメですか」全 4 回の成果としてまとめた報告書の紹介 大和総研 河口真理子	15
8/6	暮らしの質向上検討会の成果報告 内閣府 華房実保	16

その時々的重要なテーマについてゲストを呼び、各界の CSR 分野でご活躍の理事・評議員が情報交換、意見交換をする場を提供。

認定 NPO 法人に向けた取組み

認定 NPO 法人の要件を充たすために、寄付金（3,000 円/1 口以上）の募集と民間助成金への積極的な申請を行い、平成 28～29 年の認定を目指す。 以上

平成27年度 活動計算書

平成27年 1月 1日から 平成27年12月31日まで

特定非営利活動法人 サステナビリティ日本フォーラム

(単位：円)

科 目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費			
団体会員			
企業	2,650,000		2,650,000
中間組織	400,000		400,000
CSO (NGO)	100,000		100,000
個人会員	375,000		375,000
賛助会員受取会費			
団体会員	200,000		200,000
個人会員	60,000		60,000
2 受取寄附金			
受取寄附金	469,673		469,673
3 受取助成金等			
受取助成金	2,145,000		2,145,000
4 事業収益			
1. 企業のCSR活動を啓発・促進する事業収益	448,000		448,000
2. サステナビリティ社会構築に向けた調査・研究・支援事業収益	400,000		400,000
3. サステナビリティ・レポートの国際標準をめざすGRIガイドラインの普及・啓発事業収益	0		0
4. サステナビリティ・レポートに関する研究を推進し、国内外へ提言・提案を行う事業収益	200,000		200,000
5 その他収益			
受取利息	285		285
雑収益	10,000		10,000
経常収益計	7,457,958	0	7,457,958
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	3,537,668		3,537,668
退職給付費用	0		0
福利厚生費	0		0
人件費計	3,537,668	0	3,537,668
(2) その他経費			
売上原価	0		0
会議費	30,305		30,305
旅費交通費	304,394		304,394
通信運搬費	106,605		106,605
消耗備品費	48,992		48,992
印刷製本費	0		0
研修図書費	7,380		7,380
交際費	4,752		4,752
諸謝金	513,152		513,152
諸会費	86,236		86,236
支払手数料	16,718		16,718
業務委託費	1,245,819		1,245,819
雑費	10,000		10,000

その他経費計	2,374,353	0	2,374,353
事業費計	5,912,021	0	5,912,021
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	293,344		293,344
退職給付費用	0		0
法定福利費	499,484		499,484
福利厚生費	0		0
人件費計	792,828	0	792,828
(2) その他経費			
会議費	3,302		3,302
旅費交通費	200,407		200,407
通信運搬費	39,195		39,195
消耗備品費	324		324
減価償却費	53,485		53,485
印刷製本費	35,730		35,730
研修図書費	1,404		1,404
交際費	11,500		11,500
諸謝金	0		0
諸会費	21,000		21,000
支払手数料	8,336		8,336
租税公課	0		0
業務委託費	158,029		158,029
その他経費計	532,712	0	532,712
管理費計	1,325,540	0	1,325,540
経常費用計	7,237,561	0	7,237,561
当期経常増減額	220,397	0	220,397
III 経常外収益			
経常外収益計			
IV 経常外費用	0	0	0
棚卸資産減少額	0		0
経常外費用計	0	0	0
経理区分振替額	0	0	0
税引前当期正味財産増減額	220,397	0	220,397
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
当期正味財産増減額	220,397	0	220,397
前期繰越正味財産額			619,945
次期繰越正味財産額			840,342

平成27年度 財産目録

平成27年12月31日現在

特定非営利活動法人サステナビリティ日本フォーラム

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
手元現金	0	
三井住友銀行赤坂支店 普通預金	295,875	
三菱東京UFJ銀行目黒支店 普通預金	1,888,528	
ゆうちょ銀行 〇一九支店 普通預金	89,643	
未収金	0	
棚卸資産	0	
流動資産合計		2,274,046
2 固定資産		
(1)有形固定資産		
什器備品 パーソナルコンピュータ	129,895	
有形固定資産計	129,895	
(2)無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3)投資その他の資産計		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		129,895
資産合計		2,403,941
II 負債の部		
1 流動負債		
前受金		
平成28年度会費	1,310,000	
未払金		
佐藤会計事務所顧問報酬	194,400	
預り金		
個人住民税他	59,199	
流動負債合計		1,563,599
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		1,563,599
正味財産		840,342

平成27年度 貸借対照表

平成27年12月31日現在

特定非営利活動法人サステナビリティ日本フォーラム

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	2,274,046	
棚卸資産	0	
未収入金	0	
流動資産合計		2,274,046
2 固定資産		
(1)有形固定資産		
什器備品	129,895	
有形固定資産計	129,895	
(2)無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3)投資その他の資産		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		129,895
資産合計		2,403,941
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	194,400	
前受金	1,310,000	
預り金	59,199	
流動負債合計		1,563,599
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		1,563,599
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		619,945
当期正味財産増減額		220,397
正味財産合計		840,342
負債及び正味財産合計		2,403,941

サステナビリティ日本フォーラム 平成 28 年度事業計画

(平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

2016.1

事業の方針

○:会員拡大含め一般向けにも開催 △:会員向けに開催 ※:新規取り組み

対象者	サステナビリティに資する情報開示を促進し持続可能な社会を構築するためのプログラム		
	調査・研究	講座・座談会	レポート・発行物
CSR 部門担当者/ サステナビリティ・CSR 志向の企業人/ CSR の裾野を広げる取 組みに関心を持つ人	△2050 インタビュー※ △長期目標設定プロセス研究 △レジリエント企業価値評価 格付け WG	○シリーズ勉強会 △役員向け CSR 講座 △CSR 基礎講座 ○シンポジウム △役員懇談会	○ラギー・フレームワーク △シリーズ勉強会レポート △ウェブサイト・会員専用ペー ジ運営 ○メールマガジン
サステナブルな社会構 築・地域創生に関心を持 つ人	○海士町 再生可能エネルギ ー自給率向上の取組み	○アジア外総括シンポジ ウム※	

事業部門

1、企業の CSR 活動を啓発・促進する事業

■…平成 27 年度新規取り組み

シリーズ勉強会 テーマ「2030～2050 年のサステナブル社会を追求する」全 4 回

開催	タイトル	募集人数
春	総論「SDGs とパリ協定の意義 (仮)」	30
夏	各論「IR と CSR の交流事例 (仮)」	30
夏	各論「SDGs とアジア・国内事例 (仮)」	30
秋	各論「CSR 調達 (仮)」	30

CSR 基礎講座

開催	タイトル	講師	募集人数
3 月～11 月	CSR 担当者のための CSR 基礎講座 全 5 回	金澤厚	6
秋	役員・部長 (室長) のための CSR 基礎講座 全 1 回	Sus-FJ 後藤敏彦	6

研究会

開催	タイトル	
春～秋	2030 年のワーク&ライフスタイル 研究会 全 2 回	東京と地方の 2 箇所を対照区として 2030 年のワークスタイル、ライフ スタイルがどうなっているか研究する。IGES 研究員を講師に招く

調査ならびに表彰制度への関わり

開催	タイトル	
2/17	低炭素杯 2016 「ベスト長期目標賞」表彰式	長期目標を掲げる 7 自治体、10 企業を表彰

2、サステナビリティ社会構築に向けた調査・研究・支援事業

地域創生の星、海士町で再生可能エネルギー自給率向上を目指した取組み

開催	タイトル	講師（敬称略）
1/28	甦る離島、自然の宝庫 島、海、里山の未来を考える～離島の活性化と再生可能エネルギーの活用～	グリーンファイナンス機構 末吉竹二郎、海士町 松前一考、離島経済新聞 鯨本あつこ、海洋政策研究所 古川恵太、東京電力 戸田直樹、日本離島センター 小島愛之助 モデレーター：SMF 青木修三

3、サステナビリティレポートの国際標準をめざす GRI ガイドラインの普及・啓発事業

GRI のスタンダード化をにらみ、有識者等と意見交換を行う。

4、サステナビリティレポートに関する研究を推進し、国内外へ提言・提案を行なう事業

ラギー・フレームワークを頒布。第三者意見ガイドラインの普及。

地球環境基金助成事業 2050 年プロジェクトの一環で有識者にインタビューを行う。

管理部門

- ・ウェブサイト（フェイスブックページ含）・会員専用ページの運営、メールマガジンの配信
- ・役員懇談会（2 回実施）

開催日	ゲストスピーチ（敬称略）	参加者数
1/7	SDGs と企業の役割 損保ジャパン日本興亜 CSR 部シニア・アドバイザー関正雄	20

その時々的重要なテーマについてゲストを呼び、各界の CSR 分野でご活躍の理事・評議員が情報交換、意見交換をする場を提供。

- ・総会、理事・評議員会

開催日	総会、理事・評議員会	定足数
2/25	第 1 号議案 総会決議事項 平成 27 年度事業報告および決算 第 2 号議案 理事会決議事項 平成 28 年度事業計画（案）および予算 第 3 号議案 評議員会決議事項 理事の選任 第 4 号議案 理事会決議事項 評議員の選任 第 5 号議案 理事会決議事項 運営委員の選任	総会 31 名（1/3 以上） 理事会 8 名（1/2 以上） 評議員会 12 名（1/2 以上）

- ・認定 NPO 法人に向けた取組み

認定 NPO 法人の要件を充たすために、寄付金（3,000 円/1 口以上）の募集と民間助成金への積極的な申請を行い、平成 29 年の認定を目指す。

以上

平成 28 年度 活動予算書
 平成 28 年 1 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日まで
 特定非営利活動法人 サステナビリティ日本フォーラム

収入の部

(単位：円)

科 目	平成 27 年度予算		平成 27 年度決算		平成 28 年度予算	
1 会費収入						
企業	2,400,000		2,650,000		2,600,000	
中間組織	500,000		400,000		350,000	
CSO (NGO)	80,000		100,000		40,000	
個人会員	400,000		375,000		370,000	
賛助会員	100,000		200,000		200,000	
団体会員	90,000		60,000		60,000	
個人会員		3,570,000		3,785,000		3,620,000
2 事業収入						
企業の CSR 活動を啓発・促進する事業	400,000		448,000		400,000	
サステナビリティ社会構築に向けた調査・研究・支援事業	240,000		400,000		0	
サステナビリティ・レポートの国際標準をめざす GRI ガイドラインの普及・啓発事業	10,000		0		70,000	
サステナビリティ・レポートに関する研究を推進し、国内外へ提言・提案を行う事業	510,000		200,000		0	
その他関連事業	0		0		0	
		1,160,000		1,048,000		470,000
3 寄付金収入						
助成金収入	2,400,000		2,145,000		800,000	
寄付金収入	90,000	2,490,000	469,673	2,614,673	40,000	840,000
4 雑収入			10,285	10,285		
経常収入合計		7,220,000		7,457,958		4,930,000

支出の部

科 目	平成 27 年度予算		平成 27 年度決算		平成 28 年度予算	
1 事業費						
企業の CSR 活動を啓発・促進する事業	3,000,000		4,477,779		810,000	
サステナビリティ社会構築に向けた調査・研究・支援事業	760,000		1,009,054		0	
サステナビリティ・レポートの国際標準をめざす GRI ガイドラインの普及・啓発事業	210,000		313,843		64,000	
サステナビリティ・レポートに関する研究を推進し、国内外へ提言・提案を行う事業	210,000		111,345		0	
給与手当	0		0		2592,000	
業務委託費	0		0		238,000	
		4,180,000		5,912,021		3,704,000

2 管理費					
給料手当	350,000		293,344		288,000
法定福利費	500,000		499,484		460,000
福利厚生費	10,000		0		10,000
通信荷送費	120,000		39,195		60,000
旅費交通費	230,000		200,407		130,000
減価償却費	0		53,485		65,000
広告宣伝費	50,000		0		0
会議費	10,000		3,302		5,000
事務用消耗品費	30,000		324		3,000
新聞図書費	3,000		1,404		2,000
印刷経費	40,000		35,730		36,000
租税公課	1,000		0		0
諸会費	16,000		21,000		15,000
支払手数料	15,000		8,336		23,000
業務委託費	300,000		158,029		102,000
交際費	11,000		11,500		5,000
諸謝金	0		0		0
雑費	0	1,686,000	0	1,325,540	1,204,000
経常支出合計		5,866,000		7,237,561	4,908,000
経常収支差額		1,354,000		220,397	22,000

役員選任

資料3

特定非営利活動法人 サステビリティ日本フォーラム

新任 (任期：平成28年3月17日～平成29年3月16日)

役職	氏名(各50音順・敬称略)	所属	報酬	備考
理事	新谷 信幸	日本労働組合総連合会	無	新・非常勤
評議員	金山 亮	デロイト トーマツ コンサルティング合同会社	無	新・非常勤
評議員	菅 慶太郎	日産自動車株式会社	無	新・非常勤
評議員	富岡 正樹	サントリーホールディングス株式会社	無	新・非常勤

重任 (任期：平成27年3月17日～平成29年3月16日)

役職	氏名(各50音順・敬称略)	所属	報酬	備考
理事	伊藤 順朗	株式会社セブン&アイ・ホールディングス	無	非常勤
理事	稲岡 稔	株式会社大塚家具	無	非常勤
理事	牛島 慶一	新日本有限責任監査法人	無	非常勤
理事	大石 美奈子	日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会	無	非常勤
理事	加藤 三郎	NPO法人環境文明21	無	非常勤
理事	木内 孝	NPO法人フューチャー500	無	会長・非常勤
理事	後藤 敏彦	環境監査研究会	無	代表理事・非常勤
理事	笹谷 秀光	株式会社伊藤園	無	非常勤
理事	竹本 徳子	立教大学	無	非常勤
理事	タニグチ 直子	日本GE株式会社	無	非常勤
理事	谷口 正次	資源・環境戦略設計事務所	無	非常勤
理事	富田 秀実	ロイド レジスター クオリティ アシュアランスリミテッド	無	非常勤
理事	日比谷 武	富士ゼロックス株式会社	無	非常勤
監事	魚住 隆太	魚住サステナビリティ研究所	無	非常勤
評議員	足立 直樹	株式会社レスポンスアビリティ	無	非常勤
評議員	織田 創樹	ワールドウォッチ研究所	無	非常勤
評議員	加藤 浩輝	味の素株式会社	無	非常勤
評議員	金丸 治子	イオン株式会社	無	非常勤
評議員	河口 真理子	株式会社大和総研	無	非常勤
評議員	倉阪 秀史	千葉大学	無	非常勤
評議員	栗林 美紀	国立研究開発法人科学技術振興機構	無	非常勤

評議員	黒瀬 友佳子	帝人株式会社	無	非常勤
評議員	國部 克彦	神戸大学大学院	無	非常勤
評議員	斉藤 和彦	KPMGあずさサステナビリティ株式会社	無	非常勤
評議員	坂本 有希	一般財団法人地球・人間環境フォーラム	無	非常勤
評議員	佐藤 方俊	一般社団法人日本監督士協会	無	非常勤
評議員	塩島 義浩	株式会社資生堂	無	非常勤
評議員	竹内 光男	NPO法人ゼリ・ジャパン	無	非常勤
評議員	竹ヶ原 啓介	株式会社日本政策投資銀行	無	非常勤
評議員	谷 達雄	早稲田大学大学院	無	非常勤
評議員	寺中 誠	東京経済大学	無	非常勤
評議員	中山 泰男	セコム株式会社	無	非常勤
評議員	パク・スックチャ	アパシヨナータ, Inc.	無	非常勤
評議員	水口 剛	高崎経済大学	無	非常勤
評議員	三橋 優隆	PwCサステナビリティ合同会社	無	非常勤
評議員	安川 良介	ECO COMMUNICATION FACTORY	無	非常勤

退任

役職	氏名(各50音順・敬称略)	所属	報酬	備考
理事	高橋 睦子	日本労働組合総連合会	無	非常勤
理事	菱山 隆二	企業行動研究センター	無	非常勤
評議員	北栞 武次	サントリーホールディングス株式会社	無	非常勤
評議員	丸山 陽司	日本検査キューエイ株式会社	無	非常勤

※個人が所属する組織が会員とは限りません。

運 営 委 員 選 任

資料4

特定非営利活動法人 サステナビリティ日本フォーラム

新 任

役職	氏 名 (各50音順・敬称略)	所 属	報酬	備 考
運営委員	小澤 立樹	株式会社セブン&アイHLDGS.	無	新
運営委員	望月 裕太	横浜市立大学	無	新

現在の運営委員

役職	氏 名 (各50音順・敬称略)	所 属	報酬	備 考
運営委員	櫻田 彩子	フリーアナウンサー	無	
運営委員	橘 美奈子	セコム株式会社	無	
運営委員	田原 英俊	ブライスウォーターハウススーパーサステナビリティ株式会社	無	
運営委員	仲西 広祐	パナソニック株式会社	無	
運営委員	町田 寛典	株式会社クレアン	無	
運営委員	松尾 敏行	日本経済大学	無	
運営委員	森 哲郎	しあわせ創研	無	

退 任

役職	氏 名 (各50音順・敬称略)	所 属	報酬	備 考
運営委員	赤塚 千春	株式会社セブン&アイ・ホールディングス	無	
運営委員	犬飼 孝夫	麗澤大学	無	

※個人が所属する組織が会員とは限りません。

監査報告書

サステナビリティ日本フォーラム理事御中

平成 28 年 / 月 / 4 日

サステナビリティ日本フォーラム 監事

魚住 隆太 

平成 27 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日までの会計年度における会計の監査を行ったので、次の通り報告する。

1. 平成 27 年度活動計算書
2. 平成 27 年度貸借対照表
3. 平成 27 年度財産目録
4. 平成 27 年度事業活動報告書

平成 27 年度の会計報告は、正確に作成されているものと認める。

懇親会会場のご案内

会場 東京都千代田区紀尾井町 3-12 紀尾井町ビル 2F

パークサイドタブレス

有楽町線「麴町駅」2番出口より徒歩2分

TEL : 050-5788-6321

20時00分～

会費制 : お一人5,000円 (消費税 料理 飲み物込み)

